

縁結びプラットフォーム事業の年度事業評価実施要領

平成 26 年 4 月 30 日

縁結びプラットフォーム運営委員会会長決裁

1. 趣旨

事業評価委員会（以下「評価委員会」という。）が行う縁結びプラットフォーム事業（以下「大学 COC 事業」という。）における年度事業評価を適切に行うため、評価の実施に関し必要な事項を定める。

2. 評価の目的

評価委員会が行う評価は、大学 COC 事業の自主的な事業運営の見直し、改善を促し、もって当該事業の質の向上、事業運営の効率化及び透明性の確保に資することを目的として行う。

3. 評価の基本方針

事業評価は、次の基本方針により行うものとする。

- (1) 事業評価は、5 箇年の事業実施計画の達成に向けた業務の進捗状況を確認する観点から行う。
- (2) 事業評価は、縁結びプラットフォーム運営委員会（以下「運営委員会」という。）の自己評価に基づくものとする。

4. 事業評価の実施方法

事業評価は、運営委員会の自己評価に基づき作成する事業評価報告書により実施する。

(1) 運営委員会の自己評価

ア 事業評価報告書を記載するにあたっての留意事項

運営委員会は、次の事項に留意し、年度計画における実施計画の項目ごとに、業務の進捗状況等について事業評価報告書に記載する。

- (ア) できる限り客観的な情報・データを用いて具体的に記載するよう留意する。
- (イ) 当該事業の取組の実績が年度計画で定めた計画どおり進められていない場合は、その理由及び次年度以降の取組見通しを併せて記載する。
- (ウ) 特筆すべき事項等があれば次により記載する。
 - a 年度計画には記載していないが、力を入れて取り組んでいるもの
 - b その他、評価委員会に報告すべき状況など
- (エ) 必要に応じて、関連資料を添付する。なお、評価委員会が評価を行ううえで、必要と認めた資料について、追加資料の提出を求めることがある。

イ 項目別評価

運営委員会は、年度計画の記載事項ごとに、業務の進捗状況を次の 5 段階で自

己評価するとともに、できるだけ客観的なデータに基づき、その業務を行ったことによる成果も踏まえ、業務の実施状況及び自己評価の判断理由を記載する。

また、運営委員会の判断により年度計画の記載項目を複数まとめて自己評価することができるものとする。

| 評点 | 年度計画の項目別評価の評価基準 |
|----|--|
| 5 | 年度計画を上回って実施している。(計画の内容をすべて達成、かつ特筆すべき成果がある) |
| 4 | 年度計画を十分に実施している。(計画の内容の達成状況が9割以上) |
| 3 | 年度計画を概ね実施している。(計画の内容の達成状況が7割以上) |
| 2 | 年度計画を十分には実施していない。(計画の内容の達成状況が5割以上7割未満) |
| 1 | 年度計画を大幅に下回っている。(計画の内容の達成状況が5割未満) |

ウ 全体評価

運営委員会は、年度計画の項目別評価を踏まえ、事業全体における目標の達成状況、進捗状況を総合的に評価する。

(2) 評価委員会による評価

ア 運営委員会の自己評価の検証

評価委員会は、運営委員会会長の諮問により、運営委員会が作成した事業評価報告書及び必要に応じて求める追加資料に基づき、業務の実績等を確認のうえ、運営委員会の自己評価を検証する。

イ 評価

(ア) 項目別評価

運営委員会の自己評価の検証を踏まえ、年度計画の記載事項ごとに、業務の進捗状況を先の年度計画の項目別評価の評価基準に基づき5段階で評価する。

なお、運営委員会の自己評価と評価が異なる場合は、その理由を付記する。

(イ) 全体評価

年度計画の項目別評価を踏まえ、事業全体における目標の達成状況、進捗状況を総合的に評価する。

また、改善すべき事項があれば付記する。

5. 事業評価結果の答申

評価委員会は、事業評価結果を運営委員会に答申する。

6. その他

本実施要領については、事業評価の実施結果等を踏まえ、必要に応じ、評価委員会の協議を経て見直すことができるものとする。